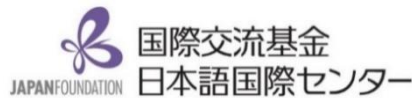


## JF 日本語教育スタンダード

### Part 2 「JF スタンダードの木」を理解する

目標： JF スタンダードの木の構造と意味、活用方法を理解する

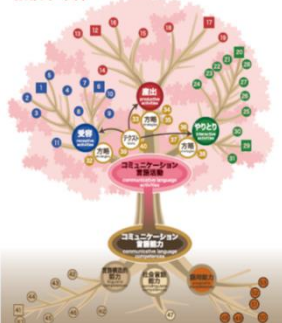


#### 1. JF スタンダードの木 全体像

JF 日本語教育スタンダードは「相互理解のための日本語」を理念としていますが、そのためには課題遂行能力と異文化理解能力が必要です。課題遂行能力とは言いかえれば、日本語でコミュニケーションをする能力ですが、JF スタンダードの木はそれが何でできているのか、どんな関係をもっているのかを表現しています。課題遂行能力の向上を目指した教育実践のためにデザインされたものです。

〈タスク 1〉 木の枝や花、木の根、番号はそれぞれ何を表していますか。

JF日本語教育スタンダード2010  
JFスタンダードの木



カテゴリー コミュニケーション言語活動 コミュニケーション言語能力

木の枝や花 \_\_\_\_\_

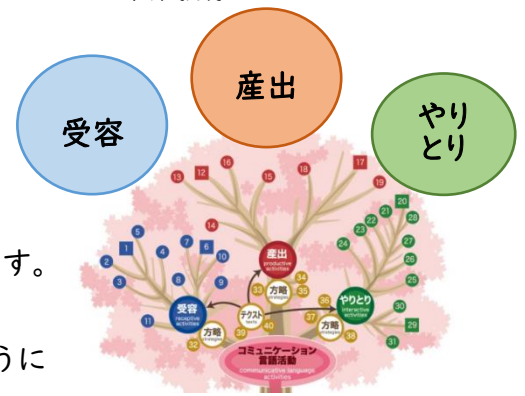
木の根 \_\_\_\_\_

番号 \_\_\_\_\_

2. コミュニケーション言語活動<sup>げんごかつどう</sup>

私たちは日常生活で言語を使って様々な活動をしています。

それがコミュニケーション言語活動です。木の枝のように



広がり、多様性<sup>たようせい</sup>があり、実際に行動となって表れるものです。コミュニケーション言語活動は、

「産出」<sup>さんしゅつ</sup>、「受容」<sup>じゅよう</sup>、「やりとり」のほか「テキスト」<sup>てくすと</sup>、「方略」<sup>ほうりやく</sup>を加えた5つの種類があります。

〈タスク 2〉 下のコミュニケーション言語活動 a~f を分類して、表に書いてください。

- a 会話をする    b 読んだことを要約<sup>ようやく</sup>して話す    c 意図<sup>いと</sup>を推測<sup>すいそく</sup>する  
d 手紙やメールを読む    e 表現方法を考える    f レポートを書く

種類	特徴(どんなものか)	言語活動の例
産出	一人で長く話す、書く	・プレゼンテーションをする ・( )
受容	読む、聞く	・テレビや映画を見る ・( )
やりとり	自分と相手の双方向	・( ) ・メールのやりとりをする
テキスト	受容と産出をつなぐ活動	・聞いたことをメモする、ノートをとる ・( )
方略	言語能力を効果的に使って 言語活動を行うときに必要	・( ) ・自分の発言をモニターする ・( ) ・発言権をとる



4. カテゴリー



『利用者のためのガイドブック』 p10-p11

JF スタンダードの木の枝や根には番号がついています。これはコミュニケーション言語活動とコミュニケーション言語能力の主な構成要素を 53 のカテゴリーとして表したものです。

例えば、「産出」の枝の 12 番は「話すこと全般」、「やりとり」の枝の 23 番は「インフォーマルな場面でやりとりをする」、「受容」の枝の 5 番は「音声メディアを聞く」というカテゴリーを表しています。また、木の根の部分では、44 番は「文法的正確さ」です。これらのカテゴリー

は、CEFR の分類に基づいています。

カテゴリーは言語によるコミュニケーションを包括的にとらえようとしたものではありませんが、

人間の言語活動を網羅することはできないため、ここには言語教育の対象となる主なもの

が例示されています。

※各カテゴリーの説明は、『利用者のためのガイドブック』p70-p71 を参照のこと

〈タスク 4〉 言語活動のカテゴリーを考えてみましょう。

下の表の ABCD は学校や日常生活の言語活動です。これらの言語活動の種類は、「産出」

「受容」「やりとり」のうち、どれですか。また、カテゴリーは何番ですか。

『利用者のためのガイドブック』p10-p11、p70-p71 を参考にして考えてください。

	言語活動の種類	カテゴリー
A 授業で発表する		
B 日本レストランで、日本語のメニューを読む		
C 日本人の先生と休み時間におしゃべりする		
D J-POP (日本のポップミュージック) を聞く		

## 5. JF スタンダードの木の活用<sup>かつよう</sup>

木のイメージは、授業や学習の内容をわかりやすく可視化<sup>かしか</sup>する、つまり目に見える形にすることが

ことができます。そこで、JF スタンダードの木は、日本語の先生が指導<sup>しどう</sup>や評価<sup>ひょうか</sup>のポイントを

考えて授業準備をするときや、授業のふり返りをするときに役立ちます。また、学習者自身が

自分の日本語運用力<sup>うんようりょく</sup>を評価する方法としても活用できます。

〈タスク 5-1〉 JF スタンダードの木を授業の準備に使ってみましょう。

学習者がスピーチ大会に参加することを最終目的にしている場合、どんな授業を計画したらいいか、『利用者のためのガイドブック』p10-p11、p70-p71 を参照して、考えてみてください。

- ① スピーチ大会に参加するという目的は、コミュニケーション言語活動の種類とカテゴリーで言うと何ですか。ヒント:授業の目標 Can-do は、そのカテゴリーの Can-do です。
- ② ①の言語活動を支えるコミュニケーション言語能力は何ですか。コミュニケーション言語能力のカテゴリーから、適当なものを選んでください。
- ③ 学習者のスピーチを評価するとき、何を評価項目にしたらいいいと思いますか。

### スピーチ大会に出る

- ・ コミュニケーション言語活動の種類 :
- ・ カテゴリー :
- ・ 目標 Can-do : 自分の専門でよく知っている話題について、事前に用意された簡単なプレゼンテーションができる (B1)

<コミュニケーション言語能力>



<コミュニケーション言語能力>

<コミュニケーション言語能力>

## 〈タスク 5-2〉 授業のふり返り

JF スタンダードの木は先生が自分の授業をふり返るときも活用できます。

あなたが最近教えた授業（1課分、1トピック分など）や、過去に教えたコース（1学期、1年間、など）を思い出してください。なにを教えましたか。時間をどのぐらいかけましたか。JF スタンダードの木のように、木の絵を描いて、説明してください。

〈タスク 5-3〉日本語運用力の可視化

あなたの外国語／日本語運用力にはどんな特徴がありますか。JF スタンダードの木のよう  
に、木の絵をかいて自分の外国語／日本語運用力を可視化してみましょう。その木はあな  
たにとって理想的な状態ですか。それとも、何か気になる点がありますか。あなたの木はな  
ぜそのような特徴を持っているのか、考えてください。



## 6. まとめ

〈タスク 6〉 JF スタンダードの木の特徴について、( ) に適当なことばを選びましょう。

- ・JF スタンダードの木は言語でコミュニケーションをする能力、つまり ①( ) の<sup>こうせい</sup>構成要素と要素間の<sup>かんけいせい</sup>関係性を表現している。
- ・木の枝や花は ②( )、木の根はそれを支える ③( ) で、全部で 53 の ④( ) がある。
- ・コミュニケーション言語活動は、⑤( ) = 聞く、読む)、⑥( ) = 話す、書く)、⑦( )、方略、テキスト の5種類に分けられる。
- ・コミュニケーション言語能力には、⑧( ) ⑨( ) ⑩( ) の3種類がある。
- ・スタンダードの木は、⑪( )、学習者の ⑫( ) を可視化して役立てることができる。

- a 日本語運用力の状態や特徴      b 授業の準備やふり返り  
 c コミュニケーション言語能力      d コミュニケーション言語活動      e 課題遂行能力  
 f カテゴリー      g 言語構造的な能力      h 社会言語能力      i 語用能力      j 受容      k 産出  
 l やりとり

■このパートの参考文献と参考サイト

・JF 日本語教育スタンダードサイト

<https://www.jfstandard.jp/standard/ja/render.do>

・『JF 日本語教育スタンダード【新版】利用者のためのガイドブック』

<https://www.jfstandard.jp/publicdata/ja/render.do>

・みんなの Can-do サイト

<https://www.jfstandard.jp/cando/top/ja/render.do>

■Part2 タスクの答え

〈タスク 1〉 木の枝や花: コミュニケーション言語活動

木の根: コミュニケーション言語能力

番号: カテゴリー

〈タスク 2〉 産出 f 受容 d やりとり a テキスト b 方略 c,e

〈タスク 3〉 ①社会言語能力 ②言語構造的な能力 ③語用能力

〈タスク 4〉

	言語活動の種類	カテゴリー
A 授業で発表する	産出	16 講演やプレゼンテーションをする
B 日本レストランで、日本語のメニューを読む	受容	8 必要な情報を探し出す 9 情報や要点を読み取る
C 日本人の先生と休み時間におしゃべりする	やりとり	21 母語話者とやりとりをする 22 情報交換する 23 インフォーマルな場面でやりとりをする
D J-POP (日本のポップミュージック) を聞く	受容	5 音声メディアを聞く

## 〈タスク 5-1〉解答例

- ① ② 下の図を参照のこと。  
 ② ①②で選定した項目を評価の観点に利用する

スピーチ大会に出る  
**産出** 16 講演やプレゼンテーションをする



## 言語構造的な能力

- 42 使用語彙領域  
 43 語彙の使いこなし  
 44 文法的正確さ  
 45 音素の把握

社会言語能力  
 47 社会言語的な適切さ

## 語用能力

- 50 話題の展開  
 51 一貫性と結束性  
 52 話しことばの流暢さ

## 〈タスク 6〉

- ① e ②d ③c ④f ⑤j ⑥k ⑦l ⑧⑨⑩ g h i(順不同) ⑪b ⑫a